

V 今年度の取組から

①分析シートの活用

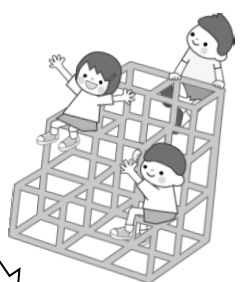
今年度は、「柏市運動遊び分析シート」を活用し、日常の遊びの中にある様々な動きを確認・分析し、課題を抽出することで運動遊びの充実を図った。

子どもの遊び (室内・外、一人・自由)	体のバランスをとる動き										体を移動する動き										用具などを操作する動き										
	20分	15分	10分	5分	3分	2分	1分	30秒	15秒	10秒	20分	15分	10分	5分	3分	2分	1分	30秒	15秒	10秒	20分	15分	10分	5分	3分	2分	1分	30秒	15秒	10秒	
例: だるまさんがころんだ																															

※シートの詳細は別ページ参照

分析シートを使った
ワークショップ

現状把握
課題の抽出
目的の明確化



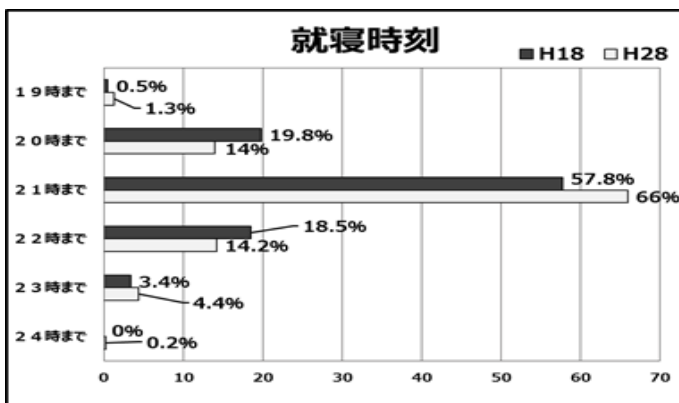
遊びの中で **楽しく**
多様な動きを身につける

不足している動き
→ 工夫して取り組む

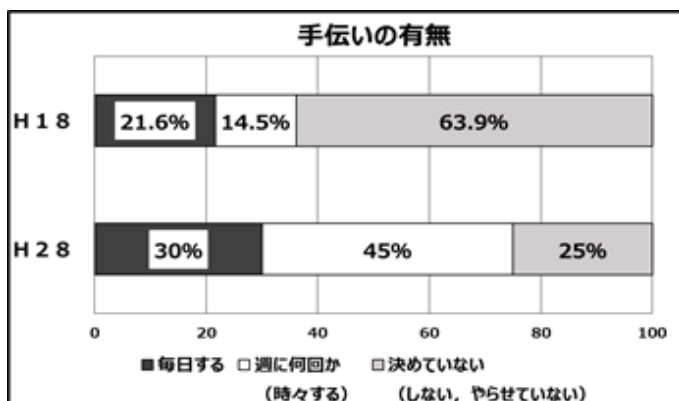
よく行う動き
→ さらに発展

②10年前と今の子どもの生活を比較

全園児の保護者に家庭生活調査をお願いして調べた子どもの生活について、10年前(平成18年)のデータと比較した。



現在81.3%の子どもが21時までに就寝しており、10年前の78.1%に比べて、早く寝かせる保護者が増えている。これは、子どもの睡眠の質を高めるために良い傾向であり、良い生活習慣のサイクルをつくる上で大切なことでもある。



手伝いを毎日する、週に何回かしている子どもは、10年前に比べてほぼ倍になっている。

日々の生活の中で体を動かす機会はたくさんある。例えば、買い物の荷物を持つ、雑巾がけ、皿洗い等…このような手伝いを行うことで手先の器用さ、バランス感覚、道具を扱う能力等、多様な動きを獲得していくことにつながるのである。

